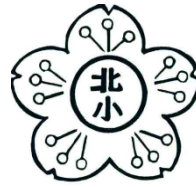


北小物語2018



平成30年 7月 6日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (29)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『い願』『い声』『い心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第29話：「晴れてほしいなあ！・・・でも雨も大切なものなのです！」の巻 ☆☆☆

織姫と彦星が出会えますように！



7月3日(火)台風7号の影響で学校は臨時休校となりましたが、その日、出張から帰った私の目に映ったのは、白く小さな「てるてる坊主」でした。前日の月曜日に1年生のある男の子が、こっそり校長室の入口に置いたものだとあとで分かりました。「外で元気いっぱい遊びたい」という素直な願いと、「このままでは、織姫様と彦星様が会えない」と心配した幼心が演じた出来事でした。

「お友達がふえますように!」「あたまが良くなりますように!」「世界中のみんなが幸せに、戦争がないように、そして、いろいろなことが成功しますように!」子どもたちは、それぞれに願いを短冊にしたため、七夕の夜の「1年に1回きりの再会」を心から願っています。

しかし、今日も「雨」。「天の川が氾濫しませんように・・・そして無事に二人が出逢えますように」校長室のてるてる坊主に願いを託す私です。7日深夜、わがサムライブルー「日本代表」が戦わずだったブラジル戦をテレビで見ながら、夜空を見上げたいと思います。



※ちなみに、北小の先生の中で、平成7年7月7日生まれのすごくラッキーな先生がいます。さて、だれでしょう？



しかし、「雨」こそ大地の恵み!?

川の増水や氾濫をもたらす「雨」ですが、この「雨」こそ、わたしたちの生活になくてはならない大切な資源です。台風一過、中庭や駐車場に散らばった樹木の清掃後に見つけたものは、1年生のアサガオの花、そして2年生のミニトマトの実でした。永田地区の田んぼでは、あふれた水に負けじと5年生が植えたイネの苗がしっかりと顔をのぞかせています。1年生教室では、早速アサガオの花の観察と色鮮やかな押し花づくりが始まりました。2年生では赤く染まったミニトマトの収穫です。「雨」が降るからこそ、私たちは、このような自然の恵みを受けることができるのです。「雨」は自然の宝石なのです。

今朝も、「雨」に打たれながら登校する子どもたちの姿がありました。「雨はいやだなあ〜」とつぶやく子どもたち。しかし、このように違う角度から、「雨」を見つめると、「雨」のよさが分かるのです。『北っ子の心を見つめる教育週間』は終わりましたが、この「雨」の話のように、ふだん接するお友達を違う視点で見つめることの大切さを子どもたちに話していきたいと思います。7日は晴れますように!

